

外国人の従業員に
やさしい日本語を

県、多治見の工場で研修

外国人県民が増加する
中、県は、バローホールデ
ィングス総業製造子会社の
中部フーズ明和工場(多治
見市)で、企業向けの「やさ
しい日本語」研修を開い

外国人への分かりやすい説明の
仕方を学ぶ従業員＝多治見市明
和町、中部フーズ明和工場



た。外国人と一緒に働く従
業員10人に、分かりやすい
説明の仕方やコミュニケーション
方法を伝えた。

研修では、工場ラインを
止めて順番に健康診断を受
けるケースを参考に、外国
人従業員の説明の仕方を考
えた。「休止する」を「休ま

す」のような言葉の置き換
え方や、ジェスチャーを交
えながらの説明を学んだ。

県日本語教育総括コーデ
ィネーターの安藤郁美さん
が講師を務め、「どうすれ
ば伝わりやすいか考えなが
らコミュニケーションを取
ることが大切」と説明した。

(稲葉亮)